現状把握

提案書

校長先生の話(聞き取り)や現場を見て書く

- ・本が傷んでいる(破れ・日焼け・背表紙が読めない等)。
- ・場所が暗い。
- ·座ることができる。
- ・壁が灰色。ステンドガラスがかわいい。
- ·窓があり、対面の廊下からよく見える。



提案

1つの提案を掘り下げる、たくさんの提案(アイデア)を出す、どちらでも OK とする

- ・本の修理を高校生にしてもらう。背表紙を作る、破れている部分を貼る
- ・電灯を常時つけるようにする。
- ・壁を塗る。ステンドガラスを活かすためパステルカラーの水色が望ましいのでは。
- ・マットを敷いて靴を脱いで上がれるようにする。玉野→海のイメージで青色。
- 窓の内外から図書館と分かるようなマークを表示して場所をアピールする。
- ・書架の上に生徒の成果物を置く。あみぐるみやおりがみなどを作り方の本と共に展示する。
- ・壁際のパーテーションに掲示しているポスターを美術館・博物館から届く幼児・子供向けの物 があれば貼る。(現在は人権ポスターを掲示している)

果たす

- □ 本に親しむ
- □ 自学自習に利用する
- □ 調べものをする

- 役割/機能 │□ 憩いの時間を過ごす
- ☑本以外の作品等を介した交流を生む
- ☑ 親子、友人と過ごす
- ☑ その他(Ⅰ人で過ごす・高校生と子どもが過ごす)

具体的な 効果

予算取りをする際に、行政の担当者に効果をアピールしたいという思いがあるので、以下の点を具体的に。

- ・ターゲット(年齢層)は? ・生徒や市民の反応は? ・どのような教育的効果があるか?
- ・こちらの仕事量や予算と利用者にとってのメリットが見合うものか?効率化の視点で考える。
- ・明るい場所にすることで、集客効果を生む。
- ・座ってくつろげるスペースになり、利用されるようになる。
- ・他のスペースとは一線を画した場所として目立たせる。
- ・高校生と子どもが折り紙や読み聞かせ等を通じて交流できる場となる。

現状把握

校長先生の話(聞き取り)や現場を見て書く

・子どもコーナーということが分からない。



提案

1つの提案を掘り下げる、たくさんの提案(アイデア)を出す、どちらでも OK とする

- ・このスペースを「秘密基地」をテーマとした空間として、子どもにワクワク感を持たせる。
- ・子どもコーナーという、マークをつける。(生徒に美術等で作らせても。)
- ・窓ガラスにステンドクラスを付けてはどうか。(邑久高校のような。)
- ・『原色日本の美術』等子どもコーナーにそぐわない書籍を移動させる。
- ・「どうぶつ」「たべもの」など、仕分けをして、子どもにもわかりやすいようにマークを付ける。
- ・ジョイントマット等を床に敷き、土足禁止にして床でも読めるようにする。

(スーパー等の子どもコーナーのように。左側の扉との兼ね合いも考えつつ。)

- ・交換ノートを置いておき、「こんな本をよんだよ。」等、自由に書かせて、秘密基地のようなワクワク感を 持たせる。
- ・塗り絵を置いておき(季節の行事やイベントに関するもの)、展示する。
- ・書籍から少し離れた場所に書く(塗る)スペースを設ける。
- ・近くに親が子を見守るスペースを作る。その近くに、行政からの情報チラシや子育てに役立つ冊子、 書籍等を置くと、親の目に入りやすい。

果たす

☑ 本に親しむ

□ 自学自習に利用する

□ 調べものをする

役割/機能 ☑ 憩いの時間を過ごす

□ 本以外の作品等を介した交流を生む

☑ 親子、友人と過ごす

☑ その他(地域の情報収集、行政支援)

具体的な 効果

予算取りをする際に、行政の担当者に効果をアピールしたいという思いがあるので、以下の点を具体的に。

- ・ターゲット(年齢層)は? ・生徒や市民の反応は? ・どのような教育的効果があるか?
- ・こちらの仕事量や予算と利用者にとってのメリットが見合うものか?効率化の視点で考える。
- ・子どもが利用する→子どもが大きくなってから思い入れのある場所として図書室を利用し続ける
- →親世代になっても、自分の子どもに利用させる。
- ・親が行政の情報を得ることで、関わりを作ることができる。

提案書 現場2「本がない状態でもさみしくならないようにするには? | (A) 班

現状把握

校長先生の話(聞き取り)や現場を見て書く

- ・閲覧用の古い本や辞書・全集・他校の記念誌が置いてある。
- ・生涯学習センターの本も対面の書架にあり、玉野備南高校 の本と見分けがつかない。
- ·全校生徒約50名。



提案

効果

1つの提案を掘り下げる、たくさんの提案(アイデア)を出す、どちらでも OK とする

- ・生徒が手に取らない本・使用できない本は廃棄する。
- ・教室前の廊下に設置している本は座って読めないスペースに置いているそうなので、2階の この場所へ本を移動してくる。
- ・授業で作成した生徒の成果物を置く。
- ・生徒に本の修理・背表紙の作成を依頼する。
- ・図書ラベルではなくとも、丸シールを背表紙に貼ると所属の見分けがついてよい。
- ・図書館コーナーの標示を作る。
- ・トランプ・囲碁・将棋・知恵の輪・ルービックキューブなどを本と関連付けて一緒に設置する。
- ・入り口廊下の立入禁止看板の文言を変える。(利用できる時間や一般利用者への配慮など)

果たす	☑ 本に親しむ	☑ 自学自習に利用する	□ 調べものをする
役割/機能	□ 憩いの時間を過ごす	□ 本以外の作品等を介した交流を生	t
	□ 親子、友人と過ごす	□その他 ()	
具体的な	予算取りをする際に、行政の担当者に効果をアピールしたいという思いがあるので、以下の点を具体的に。		

- ・ターゲット(年齢層)は? ・生徒や市民の反応は? ・どのような教育的効果があるか?
- ・こちらの仕事量や予算と利用者にとってのメリットが見合うものか?効率化の視点で考える。
- ・玉野備南高校の生徒と生涯学習センター利用者の交流スペースにする。
- ・ゆくゆくは囲碁や将棋の大会を開催して利用者を増やす。

現場2「本がない状態でもさみしくならないようにするには?| (C) 班 提案書

現状把握

校長先生の話(聞き取り)や現場を見て書く

本棚の前に立つと、本の色は茶色一色のように感じ、古い本 ばかりの印象を受ける。これでは生徒は本棚に近づいて本を 手に取ろうとは思わないだろう。本を広げてみるとキレイな 状態も本もあるし、他校で現在貸し出されているような本も あるのに…。また他校の校誌や辞書・事典などが多く置かれ ていて、場所をかなり占めている。



提案

1つの提案を掘り下げる、たくさんの提案(アイデア)を出す、どちらでも OK とする

書架をカラフルに彩ることで、高校生が近づいていき「本を手に取ってみよう」という気持ちになる。 現在、空いている書架スペースの活用アイデアをいくつか。

- 無料でもらえる冊子(出版社が出している薄い冊子)を面出しして並べてみては?その冊子の中から 読みたい本を見つけ、購入希望につながるかも。大人側も生徒の希望が分かって良い。
- ② 表紙がキレイな絵の本があったので、そういった本を面出ししてずらりと並べてみては?
- ③ 県立図書館ティーンズコーナーの掲示物を、展示終了後はこちらの書架に貼ってみては?
- ④ 例えば古典の本の近くに、古典文学に関するもの(例:衣装や当時の生活など)を写真や絵で貼って みたり、有名な一説を絵巻物から抜き出したり(コピーしたり、本を広げて置いたり)しては? 授業での取り組みで作った作品を掲示すると、一般市民の方にも見てもらえる。
- ⑤ 本のカバーがついておらず茶色一色の本は、本の表紙をカラーコピーして本の横に置いてみては? 他校の校誌や辞書・事典などはとりあえず撤去する。

書庫らしき場所があればそちらに移動。辞書などは教室近くに移動しても良いのでは。

遠くから見たときにも本の場所が分かるようにする。

本をジャンルごとに置き、歴史・小説など分類のサインを作った方が良い。

果たす

☑本に親しむ

☑ 自学自習に利用する

☑調べものをする

役割/機能

☑ 憩いの時間を過ごす ☑ 本以外の作品等を介した交流を生む

☑親子、友人と過ごす

□ その他(

具体的な

効果

予算取りをする際に、行政の担当者に効果をアピールしたいという思いがあるので、以下の点を具体的に。

- ・ターゲット(年齢層)は? ・生徒や市民の反応は? ・どのような教育的効果があるか?
- ・こちらの仕事量や予算と利用者にとってのメリットが見合うものか?効率化の視点で考える。

備南高校の図書が置いてある棚なので、ターゲットは高校生。だが、一般市民も見ることができるので、 そちらを意識した棚づくりもできる。生徒が発表などの機会を設けてその場で話さなくても、作品等を見 ることで市民の方は学校の取り組みを知ることができる。学校が地域につながる、地域に理解される場と なれば良い。そしてそれは生徒にもすごく励みになることだと思う。

この図書コーナーを生き返らせることで、生徒が本に親しむ機会を得ることができる。高校時代に出会っ た本で将来やりたいことが見つかったり、図書コーナーで過ごした時間が自分にとっていい時間だったな と心に残っていてほしい。

提案書 現場2「本がない状態でもさみしくならないようにするには?」 (D) 班

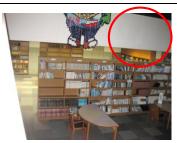
現状把握 校長先生の話(聞き取り)や現場を見て書く ・展示物と本のエリアが分かれている。 ・置いてある本の区分がされていない。 ・本がほこりを被っている。 提案 1つの提案を掘り下げる、たくさんの提案(アイデア)を出す、どちらでも OK とする ・セミナーや生徒の作品と本をあわせて展示する (表紙が見えるように)。 ・無料の雑誌を置く。 ・テーマごとに棚をつくる。全集は一カ所にまとめる。 ・「言葉を大切にしたい」という思いを柱に、高校生向けの絵本・格言集・ビジュアル多めの書 籍などを入れる。 ·VHS 等は処分する。 ・盗難防止でケース入りの本は中の本が見える向きで入れる。 果たす ☑調べものをする 役割/機能 □ 憩いの時間を過ごす □ 本以外の作品等を介した交流を生む □ 親子、友人と過ごす □ その他() 予算取りをする際に、行政の担当者に効果をアピールしたいという思いがあるので、以下の点を具体的に。 具体的な 効果 ・ターゲット (年齢層) は? ・生徒や市民の反応は? ・どのような教育的効果があるか? ・こちらの仕事量や予算と利用者にとってのメリットが見合うものか?効率化の視点で考える。 ・生徒が立ち寄る機会が増える。言語能力育成への貢献。 ・市民の利用が増える(セミナー関連)

提案書 現場3 「奥に図書コーナーがあるとわかるようにするには?」 (B)班

現状把握 校長先生の話(聞き取り)や現場を見て書く ・生徒側からの動線(以下:生徒動線)と一般利用者側 からの動線(以下:一般動線)の両方からの視点が必要。 ①生徒動線:途中に「立ち入り禁止」の立て看板がある。 カモシカの置物に圧迫感がある。 ②一般動線:つい立て(ポスター・生徒作品展示)があり、奥が 見にくいため、入っていっていいかためらう。 ・本棚の配置により奥が見にくい。 提案 1つの提案を掘り下げる、たくさんの提案(アイデア)を出す、どちらでも OK とする ①生徒動線 ・「立ち入り禁止」の看板を、「図書室はこちら」などの文言に変える。 ・カモシカの置物を移動させる。場所は、現在あまり使われてなさそうな、個別の視聴覚ブースがあるあ たり。カモシカの置物の周りに動物に関する本を置くと、興味をひきやすい。カモシカ移動後は、その場 所に机を置いて(以前喫茶があったとされる場所に良い机があった)、新着案内をしたらどうか。(本の イミテーションなどを置く。) ・生徒の作品を同じ場所に展示しているのなら、その作品に関する本を近くに置く。(作り方コーナーな ど。) ②一般動線 ・折り鶴で作られたキャラクターの横に余白があるので、「図書コーナーだよ」の吹き出しを作る。 (生徒に作らせても良い。) ・入口にウェルカムスペースを置く。(案内図や新着案内) ・一般の入り口から入って向かって左側の本棚 2 本を動かすか、本棚の向きを変えて奥行きを見せる。 ・ソファの補修(生徒にさせてもいいかもしれない。パッチワークなどで合作) 果たす ☑ 本に親しむ □ 自学自習に利用する ☑ 調べものをする 役割/機能 │□ 憩いの時間を過ごす □ 本以外の作品等を介した交流を生む □ 親子、友人と過ごす □ その他() 予算取りをする際に、行政の担当者に効果をアピールしたいという思いがあるので、以下の点を具体的に。 具体的な ・ターゲット (年齢層) は? ・生徒や市民の反応は? ・どのような教育的効果があるか? 効果 ・こちらの仕事量や予算と利用者にとってのメリットが見合うものか?効率化の視点で考える。 図書室の所在を明示することで、利用を促し、活性化につなげることができる。

現場3 「奥に図書コーナーがあるとわかるようにするには?」 (C)班

提案書 現状把握 校長先生の話(聞き取り)や現場を見て書く 入口から図書コーナー方面を見ると、まずパーテーションで区 切りがされ、その次に横並びの高い書架が壁のようにある。これ では奥の図書コーナーが全く見えず、奥に入る勇気がかなり必要。 というか多くの人は入らないだろう。図書コーナーの存在を知ること



提案

Ⅰつの提案を掘り下げる、たくさんの提案(アイデア)を出す、どちらでも OK とする

図書コーナーが存在することをアピールする。

入口入ってすぐのところにある案内板に、図書館 open/close・開館時間・新着図書紹介(表紙のカラー コピーとか新着図書リスト)をしてはどうか。また入口からも見える () の部分に「ようこそ図書館へ」 のような歓迎のメッセージを掲げるのはどうか。

横並びの書架の高い壁をなくす。

なく過ごしてしまいそう。

奥が見通せるようにしたいが、丸見えも困る(会議等に利用するため)のであれば、この書架を4つに分 けて斜めに配置してはどうか。書架のそばにスツールを置くと、そこで本を読めて良い。

空間づくりも大切に。

入口から図書コーナーにたどり着くまでの空間に置いてあるものの配置をもう一度見直す。

- ① 生徒作品の船はもっと見てもらえる場所に。そして船のそばに置いてあるコーンは、芸術作品にふさ わしいものを。
- ② たくさんあるポスターは掲示期間を短くして小まめに貼り替えることで、たくさんのスペースを占領 しないようにする。貼り方も高さや列を揃えたりするなど、整然と貼ると気持ちが良い。現在ポスタ ーを貼っている衝立がたくさんあるので、それは減らしたり撤去したりして階段横をスッキリさせて はどうか。
- ③ 2階からぶら下がっているキャラクターは存在が大きすぎるので、別の場所に移動してはどうか。
- 新聞・雑誌はひとまとめにして子どもコーナー近くまで移動してもいいのではないか。タウン情報誌 などは子育て世代にも読まれそうだから、子ども連れの大人が読むのではないか。
- ⑤ 生徒作品もこんなに奥ではなく、通路に近い見やすい位置に移動してはどうか。

果たす

☑本に親しむ

☑自学自習に利用する

□ 調べものをする

役割/機能

☑憩いの時間を過ごす

☑本以外の作品等を介した交流を生む

☑ 親子、友人と過ごす

☑ その他(新聞や雑誌から旬の情報を得る)

具体的な 効果

予算取りをする際に、行政の担当者に効果をアピールしたいという思いがあるので、以下の点を具体的に。

・ターゲット (年齢層) は? ・生徒や市民の反応は? ・どのような教育的効果があるか?

・こちらの仕事量や予算と利用者にとってのメリットが見合うものか?効率化の視点で考える。

ターゲットは市民。ここに来れば本が読める、借りられる、学べる、新しい情報を得ることができる、誰 かと交流できる、そういう施設になるようまず環境面を整えておきたい。市民と言っても子どもからお年 寄りまで年齢は幅広いが、ここは生涯学習の場なので、あらゆる年代がいつでも利用できるような施設で あってほしい。

現場3 「奥に図書コーナーがあるとわかるようにするには?」 (D)班 提案書

現状把握 校長先生の話(聞き取り)や現場を見て書く ・貸し出しはしていない。 ・生徒は両方の入り口を利用する可能性がある。 ・ついたてが邪魔で奥が見えない。 ・市民の利用は、数名の近隣の方が新聞を読みに訪れる程 度。 提案 1つの提案を掘り下げる、たくさんの提案(アイデア)を出す、どちらでも OK とする ・棚の向きを変える。ソファを移動(庭を見ながら読書できる配置)。 ・パーティションをどける。(ソファとソフアの間や、視聴覚ブースの背景など) ・視聴覚ブース(現状では再生機器がない)は個人学習スペースにしたり、リモート対応のス ペースにしたりする。 ・電気をつける(スポットライト等)。 果たす ☑本に親しむ □ 自学自習に利用する □ 調べものをする 役割/機能 ☑ 憩いの時間を過ごす □ 本以外の作品等を介した交流を生む □ 親子、友人と過ごす □ その他() 具体的な 予算取りをする際に、行政の担当者に効果をアピールしたいという思いがあるので、以下の点を具体的に。 効果 ・ターゲット (年齢層) は? ・生徒や市民の反応は? ・どのような教育的効果があるか? ・こちらの仕事量や予算と利用者にとってのメリットが見合うものか?効率化の視点で考える。 ・市民の利用 (読書) の増加。

感想・まとめ

- ・「面出し」という専門用語を知った。
- ・本棚に本を置かないでもよいというのは、新しい発想。
- ・生徒や市民の作品と関連する本を置くというやり方は、すぐにでも実践できそう。
- ・立ち入り禁止のついたては、どういう風に書き換えるとやわらかい表現になるかが参考になった。
- ・暗いところで見ると怖いカモシカのはく製も、動物の本と一緒に展示することで使い道ができるというのはおもしろい。
- ・他校の記念誌はすぐ、別の場所を用意したい。

事前課題 「予算がない今年度、どうやって本を獲得すればよいか」についてやりくりの工夫

①正攻法

- ・事務室に余った予算をまわしてほしいと、日ごろから言っておく。できるだけ具体的に困っていることを伝える(本がないので〇冊も県立図書館から借りた等)。結果、使わなくなった予算がまわってきた。
- ・課題を具体的に書いて、要望書を提出する。
- ・予算増を市教委へお願いする。

②寄贈・寄付

- ・文化祭で古本市をする際には、生徒や先生に呼びかけて本を持ってきてもらっていた。
- ・先生方から寄贈を募る。(前任校では先生方に色々とご寄贈いただきました。流行りの本などたくさん ありました。)
- ・生徒(保護者)や先生に声を掛けて寄贈してもらう。
- ・児童文学評論家で学校図書館についての本も出している赤木かん子さんが、「教職員が買って読み終わったジャンプやマガジンをもらうのも良い。まずは人が来るようにすること。本があると知ってもらうことが大事。」と言われていました。
- ・保護者(来校時に呼びかけ)や広報紙で地域の人に寄贈を呼びかけるのはどうでしょう。
- ・保護者への寄付・寄贈を募る。ただし、過去 10 年の出版物に限るなど、選書権は学校(図書館)が持つようにすること。

③供出本の利用

・県立図書館のほかに、玉野市立図書館の除籍分を譲り受けることはできないか。

④古い本の利用

- ・新書や文庫は天地を裁断機で少し削ると、きれいに見える。
- ・表紙をカラー印刷して貼る、背表紙を修理する。(研修より)

⑤その他

- ・古書店で本を購入することもある。ただし、事務室に事前相談を。
- ・古書店、出版社から譲ってもらえないか交渉する。
- ・本の配布事業やお金の寄付を行っている団体をネット等で探す。
- ・新聞で「法人団体が学校に本を寄贈」という記事がたまに掲載されているので、そこへお願いしてみる。